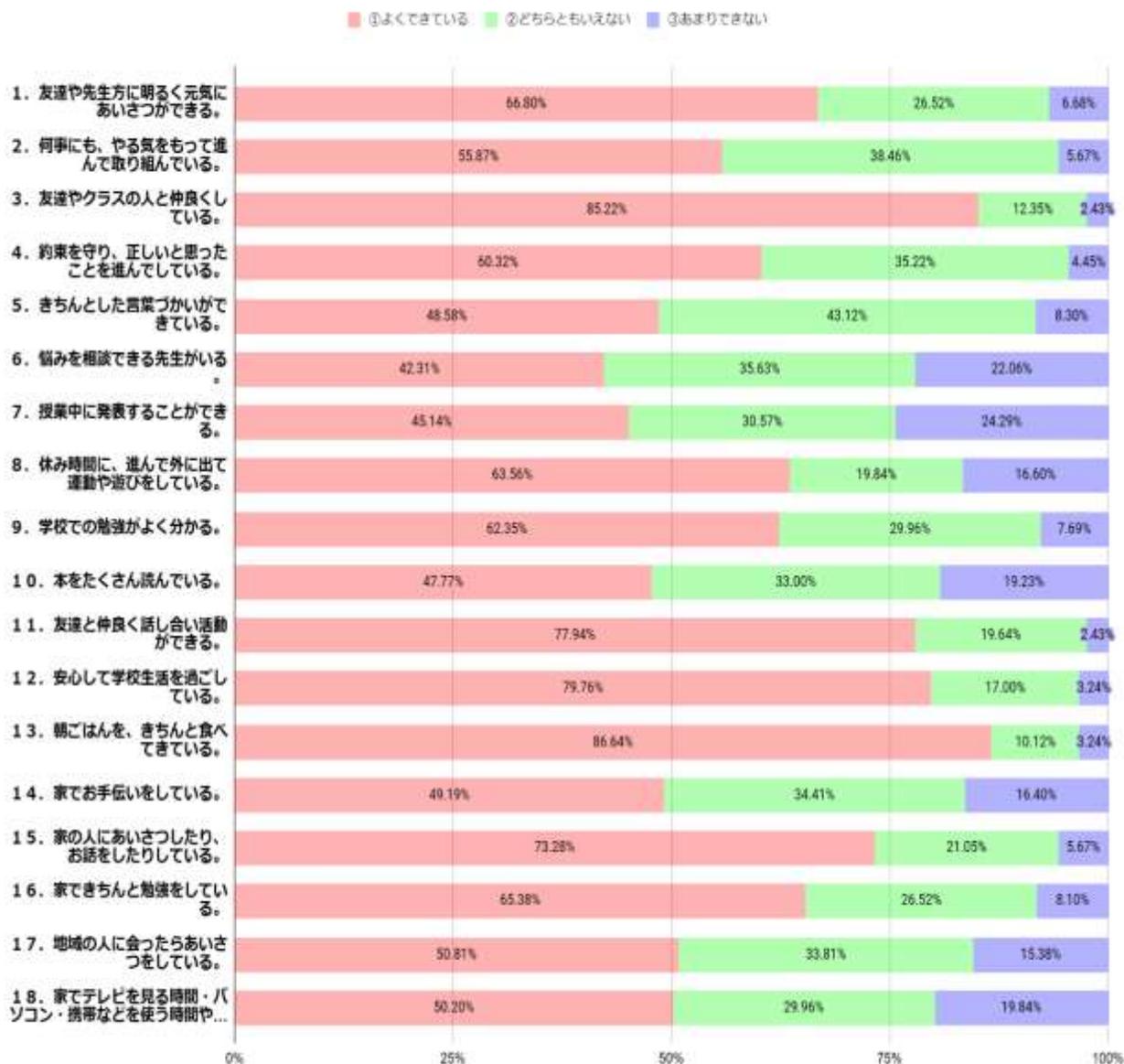


令和7年度子どもアンケート結果



(考察)

○アンケート結果を受けて、昨年度と大幅に変化は見られず、友達と仲良く過ごしたり安心して学校生活を過ごしたりと、今年度も肯定的な回答が多かった。授業においても、意欲的に発表したり学習内容が理解できていたり児童の意欲的な姿勢も多々見られた一年であった。

○朝ごはんや家の人に挨拶や話をしている項目は肯定的な回答が多く、今年度も家庭における教育力の高さが窺える。

△悩みを相談できる先生がいる、テレビやパソコンや携帯などを使うルールを決めている、家の人に挨拶はできても地域の方々に挨拶できるという項目は、やや否定的な回答が多かった。

(今後の改善方策)

- ・児童の悩みに寄り添った教育相談の在り方について、更に継続して職員全体で取り組んでいく。
- ・更に学習事項の定着を図り基礎基本の修得ができるよう、授業形態や指導の工夫をはかる。
- ・今年度同様に、保護者との連携を図り、児童がよりよい学校生活が営めるように支援していく。